

令和6年度「地域学校協働事業」 取組について

「みんなで創る 未来の浪江 ～地域とともに学び、つながる力～」(福島県 浪江町)

取組の概要

「課題を見つけ、新たなことに挑戦する」ことや、「地域住民や企業との触れ合いを通じて子どもたちの可能性を伸ばす」ことを目標に掲げ、協働活動を展開してきました。この取り組みは、地域社会と連携しながら子どもたちの成長を支えることを目的としており、児童生徒と地域住民が一体となって活動できるよう、さまざまな事業を実施してきました。

内容

『地域、企業を結び子ども達が興味を示す事業を企画・展開』

- ①放課後子どもチャレンジ(習字、英語、けん玉、バスケ、サッカー等)
- ②子ども週末チャレンジ(畑体験、スキー体験など)
- ③長期休暇イベント(施設見学、図書)
- ④地域交流活動(講師派遣、授業サポートなど)

ポイント

○ 放課後の活動

子どもたちは放課後に自分の興味ある活動を選んで、ダンスや習字などの活動を体験しました。

○ 地域・学校との連携

地域や学校のニーズを把握し、情報を共有して連携しました。

○ 週末の自然体験・宿泊体験

週末に自然体験や宿泊体験を行い、子どもたちは自然とのふれあいを楽しみました。

○ 地域学習の実施

町内の施設や専門家を活用し、地域の歴史や文化を学びました。

成果

今年度は、地域の方々との協力により124の事業を実施し、延べ1,050名が参加するなど、地域学校協働の取り組みが広がった。多様な学びの機会を提供することで、児童生徒の主体性や地域への理解が深まり、地域の人々との交流も活発化した。また、外部講師やボランティアの協力を得ることで、専門的な学びの機会も増えた。一方で、人材不足も明確になっている。



今後の方向性

今後の方向性として、地域内での人材の確保と連携の強化。双葉郡や相双地区の講師やボランティアを共有することで、地域内での協力を深め、持続可能な教育活動を支える仕組みを作っていく必要があります。また、安定した運営体制を整えることも必要です。地域、学校、そして行政が協力し、支援を得られる仕組みを作ること、活動を継続していける基盤を作りたいです。さらに、地域の人々と児童生徒たちが継続的に関わり続けられるような仕組みも大切です。地域の方々や参加者が積極的に関わることができるよう、その成果をみんなで分かち合う場を作ることで、関心を持ち続けてもらえるようにしていきます。